



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2019年7月 No.446
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『40周年に向けた一歩』 国際会長 : 『より良い明日のために今日を築く』 アジア太平洋地域会長 : 『アクション!』 西日本区理事 : 『風となれ、ひかりとなれ』 中西部部長 : 『為せば成る』	会 長 : 中村 茂高 副会長 : 三浦 直之 書 記 : 大村 肇 ドライバー : 大村 肇 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 中村 幸枝 YMCA 連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of July

(ある律法学者がイエスに尋ねた)「。。では、私の(真の)隣人とは誰ですか?」。。。

(ルカによる福音書 10章 29節)

一生を終え、のち残るもの

中村 茂高

新聞の投稿から。20代の時、両親を間置かずに次々亡くされた今は50歳の男性が、苦勞を重ねた両親の年になり、二人の人生は何だったろうかと振り返ります。

そのとき、男性は20歳の頃に夢中で読んだクリスチャン作家・三浦綾子の小説「続氷点」にある「一生を終えてのちに残るのは、われわれが集めたものではなく、われわれが与えたものである」という言葉を思い出します。

これは主人公の陽子が自分を産んでくれた母の不貞を責め、育ての親をうとむ思いにかられた時、祖父が陽子を諭す言葉です。これはジェラルド・シャンドリの言葉だそうですが、この人物については、私が調べた限りでは不明です。

投稿の男性は、両親から受けた有形無形の施しを、自らの肥やしにするだけでなく、たすきりレーのように次の世代に伝えていく。これこそ自分が生を受けた意味なのかも知れないと結びます。

私たちの活動にも通じる名言です。

July Club Meeting

『Kick-off/EMC-MC』

7月第1例会

- 日 時：2019年7月17日(水) 18:30~20:30
 場 所：ホテルグランヴィア大阪
 司 会：大村 肇 君
- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 開会 | 中村 茂高 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 谷川 寛 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 中村 茂高 会長 |
| 5. 強調月間 | 中村 茂高 会長 |
| 6. 晩餐 | 一同 |
| 7. 総会 | 議長 中村 茂高 会長 |
| ・会長方針スピーチ | 中村 茂高 会長 |
| ・会計報告(決算、予算) | 岡本剛介 君 |
| ・日程、スケジュールなど | 中村 茂高 会長 |
| 8. ショートスピーチ | 全員 |
| 9. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 10. お誕生日祝い/ニコニコ献金 | 一同 |
| 11. 閉会 | 中村 茂高 会長 |

お誕生日：坂本千春メネット

7月第2例会

日時：2019年7月24日(水) 18:30~20:30
 場所：土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

6月		種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	18名	メ ン	14名	7名	6月	0g	6月	16,000円
例会出席	14名	メネット	2名	0名	現 金	0円		
うちメーキャップ		ビジター	6名	0名	累 計			
	0名	ゲ ス ト	0名	0名	切 手	204g	累 計:	225,250円
出席率	77.7%	合 計	22名	7名	現 金	0円		オ-ケ-ッ: 35,100円

【今月の聖句】

この問いに対してイエスは有名な「よきサマリア人の話」の譬えをされ、追剥に襲われた人の隣人になった人の話をされました。「真の隣人」が祭司でなく、レビ人でもなく、イスラエルの敬虔な信徒でさえなく、むしろ当時ユダヤ人が差別してきた「サマリア人」であったことは、ユダヤ人にとって、大変大きなショックでした。キリスト教の時代になった今日、この譬えの「よきサマリア人の話」は「隣人愛の代表」の例として一般化されています。事実、キリスト教国では、この話は「隣人愛の手本」として知られ、Good Samaritan Hospital という名前の病院が方々にあります。隣人愛は、ラビたちのようなユダヤ人のいう同胞に限られず、「助けを求めずすべての人に適応される」ことを示しています。イエスは「あなたも行って同じようにしなさい」と言われますが、なかなか実行が難しいことです。

(聖句選/コメント：谷川 寛)

6月第1例会報告

と き：2019年6月19日(水) 18:30~20:30

ところ：ホテルグランヴィア大阪

本日の例会は、次期中西部部長公式訪問で、キャビネットや主査ら6名が参加。掛谷太郎次期中西部部長が、三浦直之会長と、中村茂高次期会長の交代式の司式を務め、その後、部長方針を述べました。

晚餐後、今月で入会1年となる花本茜メンが「私と翻訳、通訳」と題し、これまでの英語にかかわる体験を話してくれました。花本メンは、ハワイ大学在学中、マノアのYMCA寮に1年間ステイした経験もあり、そこで大阪YMCAを知る機会が生まれ、IHS(インターナショナルハイスクール)に4年間勤務することになったそうです。その後、公文教育研究会の指導部で、世界51カ国の公文式の指導について考え、課題を解決するチームに所属。通訳、翻訳の苦労話や英語の学び方など、簡潔にわかりやすくお話しいただきました。裏話として、「通訳者にとって必需品は何かと思いますか」との花本メンの質問に、「iPad」や「紙とペン」などが出るなか、「頭を使うから、チョコレート」と名回答が飛び出す場面も。また、なぜワイズに入ったのかという理由では、YMCAをやめる時に、YMCAとのつながりを保ちたかったので、関係の深い大阪センテニアルが浮かんでいった」とのことでした。私たちは、花本メンの今後の活躍におおいに期待するところです。

連絡報告では、何メンから、5月11日のファミリーコンサートで、西淀川子どもセンターに募金も合わせ、123,801円支援したと報告がありました。

≡≡≡ Club Activities May 2019 ≡≡≡

June's meeting was held at the usual venue with special guests: Mr. Taro Kakeya (the next Governor of Mid-West District) and other 6 members (cabinets and directors).

Mr. Kakeya conducted the ceremony to appreciate the effort of our former president, Mr. Naoyuki Miura and celebrate the inauguration of our new president, Mr. Shigetaka Nakamura. He also stated his policy as the new DG. Our speaker for the night was Ms. Akane Hanamoto, our youngest new member who will have celebrated her 1 year anniversary next month since her joining the club.

She shared her story with experiences that led her to pursue her learning of English, which ended up as working as a translator.

For the one year she had studied in University of Hawaii at Manoa, she lived in a YMCA dorm run by Atherton YMCA. That experience led her to work as an YMCA staff after graduation and she worked at Osaka YMCA International High School (IHS) for four years.

During her talk, she shared the important mindset as an interpreter/translator with some small quizzes we could try. She also shared her reason to join Y's men's club: to stay connected to YMCA even after leaving.

We look forward to her active participation. In the announcement, Mr. Ho reported that we have donated ¥123,801 to Nishi-Yodogawa children's Center from the profit we earned from the Family Concert held on May 11th.

By Akane Hanamoto



英語とのかかわり、通訳、翻訳の仕事語る花本茜メン



2 がっちり握手！掛谷部長真ん中に三浦、中村茂メン

“イスラエル、再び総選挙へ”というニュースが最近飛び込んできました。同国のネタニヤフ首相による連立協議が不成立に終わり、これを受けて、同国国会の解散が決まりました。4月の総選挙からわずか3ヶ月足らずで再度の総選挙です。理由は、ネタニヤフ首相の率いる右派リクード党が次期の連立政権発足のための協議に失敗したためです。

ご存じイスラエルの国会は一院制で120名の議員で構成され、ネタニヤフ氏の率いる右派のリクードと中道・左派の「青と白」（イスラエルの国旗の色）が各35名の党員を有する以外、残りはすべて少数政党です。他の政党も過半数を得て連立政権を成立させることが難しく、国会は解散に踏み切りました。

9月に再び総選挙となります。この失敗の理由の一つに、リーベルマン前国防相が党首の極右「我が家イスラエル」が連立入りの条件として主張している「超正統派のイスラエル人の徴兵制免除を撤廃する法案」の成立があり、この成立に反対する宗教政党との対立があります。イスラエルならではの問題です。

この超正統派ユダヤ人 (Ultra-Orthodox Jews) については以前にも書きましたが、あの「嘆きの壁」に行かれるとお分かりになりますが、一年中厚い黒色の服を着て、髭を剃らず、タルムドを読み、祈りを捧げている人々の一団に遭遇することがあります。彼らは教義を厳格に守り、これといった仕事をもたず、代わりに奥さんが働き、生計を立てています。子沢山で、イスラエル政府から、補助金を受けています。イスラエルは徴兵制度があり、一般に女性も徴兵の義務がありますが、超正統派の彼らはその義務から免除されています。出生率が高く、人口の10%を占めており、将来人口の40%に達するとの予測もあります。(現在の人口は880万) 彼らに対する一般のイスラエル人の風当たりが最近厳しくなり、政治の舞台でも、これを反映して、極右などの世俗政党からも徴兵制免除の撤廃の要求が出ています。しかし、一方で世俗の軍隊で、彼らに何ができるのかという疑問の声も上がっています。



「嘆き壁」の前で祈りタルムッドを読む超正統派のユダヤ人

6月第2例会報告

と き：6月26日(水) 18:30~20:00

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、芝田、中村茂、三浦、山中、山中

＜今後の例会ほか行事予定＞

*8月合同納涼例会(なかのしまクラブと) 8/14(土)
18:30~20:30、「ラルゴ」中之島フェスティバルタワー12F。バンド「カヘアラニ」とフラダンサー出演。

*9月メネット例会 卓話「西淀川子どもセンター報告」

*20年3月28日(土) 桂吉弥落語会(大Y会館2F)

*第2例会変更 9/25(水)→9/11(水)

10/23(水)→10/24(木)

＜ワイズ活動＞

*7/19-21 アジア・太平洋大会(仙台)

*7/28(土) とさぼりさまーセミナー

(第2例会議事録より抜粋)

YMCA ニュース

☆第315回早天祈祷会☆

日時：2019年7月21日(金) 7:30~8:30

証し：鈴木 一弘 さん(学生YMCA 関西地区共働スタッフ)

場所：大阪 YMCA 会館 10階チャペル

☆とさぼりさまーセミナー☆

夏休み、家族で街の学校に行こう!

日時：2019年7月28日(日) 大阪 YMCA 会館

*お申込受付開始: 6月29日(土) 10:00~

【午前のプログラム:10:00~12:30】

《①豆腐パンのランチョンミートサンド ②リサイクルおもちゃ ③和紙ちぎり絵 ④ さをり織り ⑤ゾートロープ(覗きからくり)》

【午後のプログラム:13:30~15:30】

《⑥アイシングクッキーをつくろう! ⑦さをり織り ⑧誰でも簡単にできるマジック ⑨ ペットボトル透明ケース ⑩小さなバッグをつくろう ⑪理科実験教室~カ・バランス~ ⑫くねくねスネーク(工作)》

*参加費はプログラムによって異なります。詳細は WEBチラシをご覧ください。

https://www.osakaymca.or.jp/_userdata/pdf/2019_tosabori_summer_seminar.pdf

*お申込は、WEBのフォームからお願いいたします。

<https://forms.gle/7yWvqTZDRdajada96>

☆ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い

大阪 YMCA では、YMCA 運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修などに用いられる募金を実施しています。みなさまのご協力をお願いいたします。

【募金方法】 一口 1,000円

【募金期間】 7月1日(月)~8月31日(土)

【受付窓口】 各 YMCA、大阪 YMCA 統括本部

(06-6441-0894)

船戸 輝久



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ゲスト、ビジターからのメッセージ》

○三浦会長、2年間お疲れ様でした。そして中村会長、センテニアルクラブの活性化のため、ご期待申し上げます。本日はありがとうございました。（次期中西部部長・掛谷 太郎）

○中西部会、中西部ゴルフコンペ、中西部ボウリング大会など盛りだくさんの1年、よろしくお願ひ致します。

（次期中西部書記・清水 真一）

○素敵な雰囲気と音楽に囲まれ楽しいひとときを過ごせました。（次期中西部事務局長・野田 将弘）

○本日はありがとうございました。（次期中西部 EMC 事業主査）

○ハワイアン風のウクレレと日々の糧の斉唱でのほのぼのとした例会でした。今後の御クラブのご成長をお祈り申し上げます。

（次期中西部 Y' サース事業主査・牟 大盛）

○久々のセンテニアル、今日は EMC 主査最後の御仕事、花本さんのワイズライフの感想がお聞きしたいと思い、出席致しました。三浦会長さん 2 年間お疲れさまでした。中村新会長、インテリジェンスの香りをただよわせる楽しい例会のセンテニアルにして下さいね。私は 7 月よりなかのしまに入会致します。（中西部 EMC 事業主査・和田 早苗）

《会員、メネットからのメッセージ》

○部長公式訪問で多くのビジターを迎え盛会でした。三浦会長 2 年間ご苦労様でした。また、花本さんの卓話、時間が短くなり申し訳ありませんでした。また、ゆっくりお話を聞かせてください。中村新会長よろしくお願ひいたします。（大村 肇）

○中村会長、芝田さん応援しています。花本さんのお仕事のこと知れてよかったです。（岡本 剛介）

○三浦会長、2 年間お疲れ様でした！そしてありがとうございました。中村次期会長、センテニアルを引っぱって行って下さい！EMC に、全力をみんなで注ぎましょう。（芝田 光雄）

○掛谷中西部長の元気な方針、たのもしいです。花本さんのキャリアを聞いて大変たのもしかったです。ガンバッテ下さい。期待しています。（谷川 寛）

○三浦会長ご苦労さまでした。トラブルもなく安定感のあるお働きに感謝します。花本さん、「シャドーイング」勉強になりました。（中村 茂高）

○初めての卓話、とても緊張しましたが、温かく聞いて頂き感謝です。ありがとうございました！そして三浦会長、本当にお疲れさまでした。中村新会長、どうぞよろしくお願ひします。（花本 茜）

○掛谷中西部長司式のもと、三浦会長から中村新会長への交代の場を共にできましたこと感謝です。新たな 1 年の歩みに神様の祝福がありますことを祈ります。花本さんの通訳のお話も良い学びの時となりました。（船戸 輝久）

○会長交代式はじめ沢山のゲストを迎え、にぎやかな例会でした。ゲストの方々のスピーチありがとうございました。（松浦 和子）

○中西部長公式訪問ありがとうございます。会長交代式もとどこおりなく済み感謝申し上げます。次期中村茂高会長を盛上げていきたいと思ひます。（三浦 直之）

○大阪センテニアル Y' s の活躍に一層力が加わる様に願っております。（山田 孝彦）

○花本茜さんの自己紹介、英語、英語教育との関わり合い、趣味と実益を兼ねた体験は大変興味ありでした。（山中 秀男）

マンダレー滞在記 1

中村 隆幸

マンダレーに来て 1 カ月が過ぎました。6 月に入り少し涼しくなりましたが、それでも毎日の温度は、35 度から 38 度くらいです。授業が始まるまで 1 週間ほど余裕があったので、旧友の Nyunt Hlaing に会いにピンダヤに行きました。マンダレーは、マンダレー管区にあり、ピンダヤはシャン州にあります。1,000 メートル級の山を越えていかなければなりません。マンダレーからピンダヤまでは車で約 6 時間かかります。ミャンマーには 7 つの管区と 8 つの州があります。管区と州の違いは、住んでいるビルマ族の人口割合が、80%以上の地域は管区、それより少ない地域を州と呼んでいます。州には州の名前の部族が多く住んでいます。ピンダヤはシャン州なのでシャン民族が多く住んでいます。旧友は、臨床医をやめて奥さんと二人で住んでいます。去年は首の手術をしてカラーコルセットをしていましたが、今年はそれもはずれて元気にしていました。5 月はマンゴーのシーズンなので、彼が所有しているマンゴー農園で、たくさんのマンゴーが食べれると期待していたのですが、雨が少なく水不足のために、マンゴーは不作だと嘆いていました。彼とは来年も元気に会おうと思って別れて、マンダレーに帰ってきました。

ヒトセンターの授業は、5 月 13 日から始まりました。私以外にもう一人日本人の金子さんも、ボランティアにやってきました。クラスは、elementary, Basic 1, Basic 2, Intermediate 1, N3, N2, 会話クラスがあります。生徒は約 120 名で、elementary class 最も多いです。

elementary class はミャンマー人の先生で、その他のクラスは金子先生と私が受け持っています。私は、Basic 2, Intermediate 1 そして N3 のクラスを受け持ち、25 名の生徒に日本語を教えています。女性の生徒が圧倒的に多く、男性が一人というクラスもあります。みんな熱心でほとんど休まずに授業に来てくれます。授業は朝の 7 時から 8 時半、10 時から 12 時、そして夕方の 5 時半から 7 時まで行います。

マンダレーは今年雨が少なく、毎日 40 度前後の気温です。そして一日に数回停電します。短いときは 1 時間くらいで、ながいときは 5、6 時間も続きます。自家発電装置があるので、授業中の停電には作動します。しかし昼間で授業のないときは、発電しませんから、エアコンが使えず非常に暑いです。笑えない話ですが、私は朝起きて電気がついていない時に、最初にするのはトースターでパンを焼くことです。停電の時は、ガスがあるのでフライパンでパンを焼きます。このような状態は、まだまだ続きそうです。

今回はこのくらいで報告を終わらせていただきます。次回からは写真を添付させていただきます。まだ写真が整理されていないので申し訳ありません。



6 月 22、23 日、第 23 回西日本区大会・京都で、ハワイ・ヌアヌのモリス・シモンシ氏が来日、IBC 交流をしました。